

学びの池

令和6年 4月9日発行 第1号
 札幌市立平岸中学校 発行 須藤 勝也
 豊平区平岸1条21丁目3-1 ☎811-9585
<https://www.hiragishi-j.sapporo-c.ed.jp>

いよいよ新学期のスタートです

◆平岸中学校教育目標

本校の教育は一人ひとりが人格を尊重し、真理と平和を求め、地域・社会の発展に寄与する人となるために

1 創造的知性にすぐれ

問題を解決するために思考力・判断力・表現力を育む

2 豊かな情操をそなえ

豊かな心と人間性を育む

3 健康でたくましい心身をもつ

健康な心身と生きる力を育む

生徒を育成する

◆求める生徒像 〈※各教室の黒板横に掲示しています〉

- 自ら学び、より良く問題を解決できる生徒
 - ・ 学ぶ意欲をもち、目標に向かって努力することができる
 - ・ 深く考え、より良い判断をすることができる
 - ・ 何事にも積極的に取り組み、自分を表現することができる
- 豊かな人間性と社会性を身につけている生徒
 - ・ 礼儀や規律をわかまえ、行動することができる
 - ・ 温かい心をもち、人や自然と接することができる
 - ・ 心豊かに、しなやかな感性を磨き合うことができる
- 命を愛し、健康でたくましく生きる生徒
 - ・ 明朗で、健康な心身をもちながら鍛え合うことができる
 - ・ まわりの人々や社会の幸福・発展のために尽くすことができる
 - ・ 生命を尊重し、謙虚で感謝の気持ちをもつことができる

令和6年度、1学期の始業式が8日に行われました。生徒達は、進級の喜びや新しい学級への期待を胸に、元気に登校してきました。着任式の中では、新しい教職員を温かく迎える姿が印象的でした。

今年度、本校に着任した教職員は、下記の通りです。どうぞよろしくお願い致します。

◆着任者一覧

- ・ 須藤 勝也 (学校長) 啓明中学校より
- ・ 山崎 圭 (教頭) 澄川中学校より
- ・ 宮武 基理 (主幹教諭 社会) 琴似中学校より
- ・ 加藤 幸治 (社会) 北野中学校より
- ・ 横山 和誉 (数学) 新採用
- ・ 中橋 玲名 (美術) 北都中学校より
- ・ 中村 沙織 (保健体育) 伏見中学校より
- ・ 小沼 豊 (スクールカウンセラー) 新着任



◆令和6年度 平岸中学校教職員◆

- ・ 校長/須藤 勝也
- ・ 教頭/山崎 圭
- ・ 主幹教諭/宮武 基理

□担任・副担任

	1年	2年	3年
1組	鈴谷 勉	秋田谷正史	赤澤 麻里
2組	横山 和誉	相馬 慶暉	中原 優希
3組	佐藤 希美	西山 由香	西山 智貴
4組	三宅 充	磯部 桂子	細木 慎太
6組	浅見 優衣	安藤 孝志	村井 麻美 道下 恭平
副担任	江藤 奈穂①④ 加藤 幸治② 中路 信哉③	宮武 基理① 戸倉 康則② 田村まりこ③④ 中橋 玲名③④	鎌田 守① 志田 真理② 白馬 聡③④
幹 副	葎原 雪絵	米田 敦子	中村 沙織

- ・ 養護教諭/葎原 雪絵
- ・ 栄養教諭/米田 敦子
- ・ 事務職員/今村 昌平
- ・ 用務員/西村 勇樹
- ・ 校務助手/高橋 純子
- ・ 福祉補助員/菱田 明仁
- ・ 相談支援パートナー・学びの池-ター/佐藤 かよ子
- ・ 学びの池-ター/明山富士枝
- ・ 学校司書/河崎 真季
- ・ スクールカウンセラー/小沼 豊

始業式 学校長の話

「すべての人が幸せとなる学び舎を目指して」

校長 須藤 勝也

令和6年度の平岸中学校の生活がスタートします。最高学年である新3年生は学校づくりの中心的な役割を担います。自信と覚悟をもって活動し、あこがれの先輩となってください。新2年生は、3年生を支え、明日入学する新入生134名にとってのよき見本となってください。年度の後半以降には、2年生が生徒会の舵取りをすることになります。それまでに力を蓄えてください。

皆さんに、今年度の学校づくりの目標として考えたことをお伝えします。それは、「すべての生徒、保護者、教職員が、幸せを感じられる学び舎にする」ということです。このことを心に秘めて、一人一人が躍動する一年であることを願っています。「幸せ」と感じられるのは、どんな時でしょうか？夢や願いがかなったり、目標を達成したりしたとき。誰かに認められ、褒められたとき。授業で「なるほど」と分かった時、行事で学級がまとまり「絆」が強くなった時。親友と過ごす何気ないひと時、好きな本を図書館で読んでいる時。保護者であれば、子どもが「学校が楽しい」とその様子を笑顔で話すのを聞いた時でしょうか。一人一人が感じる「幸せ」は百人百様です。

では、学校で「幸せ」を感じるために必要なこととは、何ですか？第一に、誰にとっても安全・安心に過ごすことができる居場所が学校にあることです。ストレスや悩みを抱えたり、いじめや対人関係のトラブルで困ったりしたときには誰かに援助を求めてください。一方で、誰かが悩んでいるのに気付いた人は、友達に相談する、または先生や親など大人にそのことを伝えてください。相互に助け合うことは心穏やかに生活するためには必要なことです。さらに、学級で起きるトラブルは、その学級のすべての人に関係があるのです。決して自分には関係ないことではないと思ってください。

第二に、皆さん一人一人が、授業や学級活動、生徒会活動、行事、部活動などで、主体的に自分の意志をもって積極的に活動することです。これは「自立」ということです。もちろん、自分の意志といっても、集団で過ごすので、他人に迷惑をかける行為は認められません。皆さんは、今年1年、日々の学校生活において、主体的、自治的に仲間と共に学び合い、高め合ってください。その過程において真の友情は育まれ、そして、昨日より今日の自分、今日よりも明日の自分は、成長し続けるのです。そんな学校では、生徒や教職員が明るく、笑顔あふれ、互いに「幸せ」を感じることができる潤いのある学び舎となるはずですよ。

皆さんと共に、私も「幸せ」を感じられるよう、自分を磨いていきたいと思っています。

始業式 代表生徒の話

3年 代表生徒

3年生になり、中学校生活最後の年を迎えました。僕は、二つのことを大事にしたいと思っています。

一つ目は、努力することです。僕は野球部部長として、部員をまとめ、引っ張る責任があります。昨年、先輩方が最後の試合で、自分の実力不足だったと涙を流す姿を見て、悔いは残したくないと思いました。そのために、今のメンバーで、日頃から「努力」という未来への投資を怠らないようにしたいと思います。

二つ目は挑戦することです。最後の一年を充実したものにしりたいと思っています。充実の中には、成功だけではなく、失敗して悔やむことも含まれると思います。これまで僕は、やらずに後悔することが多くありました。それでは、後悔しか残らず、思い出となりません。僕は、中2で学級代表や部長に挑戦しました。挑戦した上で、失敗をして悔しい思いをすることもありましたが、その一つ一つは記憶に残り、大切な思い出となっています。だから、3年生でも恐れず、自信をもって、自分から行動していきたいです。

中学生としての、また来年はありません。一つ一つが最高の記憶となるように、中学校生活を過ごしていきます。卒業するときに、中学校生活を終えることが惜しまれるような1年にしたいです。



本校のホームページのQRコードです。ぜひご利用ください。